

令和6年度  
サービス管理責任者・児童発達支  
援管理責任者指導者養成研修  
実践研修コース  
9月12日～9月13日

---

研修ガイダンス

9月12日

時間	研修項目と担当	研修の具体的内容
9:00~9:10	コースガイダンス コンサルテーションサポート森の入口 主任相談支援専門員 金丸博一	本コースで実施することの流れの説明
9:10~10:00	「実践研修のミッション～実践研修の現状と本来の目的～」 社会福祉法人けやきの郷 業務執行理事 菊本圭一	基礎研修を修了し、実践研修を受講する方々の実態について解説し、研修を企画する側の留意点について提起していく。また、実践研修修了後にサビ児管に求めていることについて振り返り、実践研修の本来の目的について解説していく。
10:00~10:50	「支援現場における人材育成のあり方～支援現場の現状と実施可能な工夫」 三浦市基幹相談支援センター 主任相談支援専門員 柏美樹	サビ児管の役割として、人材育成を行っていくことが重要であることを伝えていく。そのために、実際の支援現場をあきらかにしつつ、実施可能な人材育成について提案していく。
10:50~11:00	休憩	
11:00~12:00	二つの講義を受けてのグループワーク 金丸博一、菊本圭一、柏美樹	① 二つの講義を受けて感じたこと(理解出来たこと、共感したこと、課題と感じたこと)の共有 ② 実践研修の受講生がおかれている状況についての情報共有
12:00~13:00	(昼休憩)	
13:00~13:30	二つの講義を受けてのグループワークの全体での共有(発表) 社会福祉法人本庄ひまわり福祉会 本名 靖 菊本圭一、柏美樹、金丸博一	グループワークで情報共有したことの発表

9月12日

時間	研修項目と担当	研修の具体的内容
13:30~15:00	シンポジウム「実践研修の現状と課題」 小川専門官、本名靖、菊本圭一、柏美樹、金丸博一	① グループワークで情報共有したことの発表を受けて、前半の講義を行なった菊本氏、柏氏からの補足〔10分〕 ② 本年度の報酬改定と実践研修とのつながり(小川専門官)〔25分〕 ③ 研修を企画していく側が苦慮していること(柏氏)〔10分〕 ④ 実践研修から更新研修までにサビ児管として経験してほしいこと〔10分〕 ⑤ 研修を企画していくためのシステムについて(本名先生)〔10分〕 ⑥ ①~⑤を受け、改めて実践研修における課題について各登壇者からコメントや提案
15:00~15:10	休憩	
15:10~16:10	シンポジウムを受けてのグループワーク 本名靖、菊本圭一、柏美樹、金丸博一	① 前段のシンポジウムを受けて感じたこと(理解できたこと、共感したこと、課題と感じたこと)の共有 ② 各グループで出てきた課題の整理
16:10~16:20	休憩	
16:20~16:50	「サービス提供に関する講義及び演習」のポイント 菊本圭一	サービス提供に関する講義及び演習Ⅰ(モニタリングの方法) サービス提供に関する講義及び演習Ⅱ(個別支援会議の運営方法) の二つの講義・演習のポイントを解説(変更部分があれば、紹介する。また、報酬改定の内容を意識した方がよい部分があれば、その解説も行なう。)
16:50~17:20	「人材育成の手法に関する講義及び演習」のポイント 本名靖	人材育成の手法に関する講義及び演習Ⅰ(サービス提供職員への助言・指導について) 人材育成の手法に関する講義及び演習Ⅱ(実地教育としての事例検討会の進め方) の二つの講義・演習のポイントを解説(変更部分があれば、紹介する。また、報酬改定の内容を意識した方がよい部分があれば、その解説も行なう。)
17:20~17:30	本日のまとめ・明日に向けてのガイダンス 金丸博一	本日の流れの振り返りと明日の予定の説明

9月13日

時間	研修項目と担当	研修の具体的内容
9:00~9:30	<p>「多職種及び地域連携に関する講義及び演習」のポイント            社会福祉法人唐池学園 貴志園 園長 富岡貴生</p>	<p>多職種及び地域連携に関する講義及び演習Ⅰ(サービス担当者会議等におけるサービス管理責任者の役割)            多職種及び地域連携に関する講義及び演習Ⅱ((自立支援)協議会を活用した地域課題の解決に向けた取組)            多職種及び地域連携に関する講義及び演習Ⅲ(サービス担当者会議と(自立支援)協議会の活用についてのまとめ)            の三つの講義・演習のポイントを解説(変更部分があれば、紹介する。また、報酬改定の内容を意識した方がよい部分があれば、その解説も行なう。)</p>
9:30~10:00	<p>実践研修を実施していく上で研修スタッフが理解しておきたいスーパービジョン            本名靖</p>	<p>実践研修においても、SVの考え方を取り入れている。そのため、実践研修を企画または、ファシリテーターの役割を担うためには、できればSVについて経験を持ったものが望ましい。そうしたことも含め、改めてSVの重要性について学ぶ講義とする。</p>
10:00~10:10	<p>休憩</p>	
10:10~11:10	<p>都道府県で実践研修を企画運営するためのグループワーク(基礎、実践、更新 連動性のある研修内容と補完研修の必要性を考える)            本名靖、菊本圭一、富岡貴生、柏美樹、金丸博一</p>	<p>① 昨年度または今年度の都道府県実践研修において、留意していること、工夫していることをグループ内で共有していく。            ② 各都道府県研修を企画・実施していくにあたり、課題としていること、確認したいことを整理する。(必要に応じ、講師をグループに招集する。)</p>
11:10~12:00	<p>グループワークの全体での共有(発表)振り返り・まとめ            本名靖、菊本圭一、富岡貴生、柏美樹、金丸博一</p>	<p>① グループワークで話し合ったことの発表            ② 質疑応答            ③ 各講師からの総評及びコメント</p>

# 都道府県における実践研修は…

## ～これまでの本受講生の声から～

---

- 「モニタリングの方法」の演習については、とても大切な視点であることはよく理解できたが、困難な状況の体験談や助けてもらった経験を受講生に語らせることの研修効果に疑問を感じる。人によってはトラウマ体験であり、それを他者に開示するようなワークは受講生にとっても研修運営上も危険であるように思う。
- 「心の糧」をファシリテーターに理解してもらい、それを受講者にどのように浸透させていくかが、企画に携わる自分たちの役割と認識した。
- 実践研修における人材育成の手法に関する講義及び演習については、更新研修の2日目のスーパービジョンとの連動や差別化を図る必要性を感じた。
- 後半の関係機関との連携で盛り下がる傾向にあるので、特に自立支援協議会の活用については、各市町の好事例を伝えるなどの工夫が必要だと感じている。
- 多職種・地域連携については自立支援協議会の認知度が受講生にとっては薄く、展開に工夫が必要と感じた。

# 都道府県における実践研修は…

## ～これまでの本受講生の声から～

---

- 多職種及び地域連携に関するセクションの自己チェック表を、事前に自事業所または自法人がどのように関わっているのかを調べて書いてきてもらうのもよいのではないかと感じた。
- セクションの繋げ方の難しさを実感していた。
- 国研の意図するところをどうファシリテーターに理解してもらい落とし込んで行くかを課題として、進めていきたい。
- 基礎研修終了後、2年間（6月以上）のOJTを行ってきたことを前提に支援会議の運営、支援提供職員への人材育成・多職種連携、自立支援協議会の活用等、サビ児官として個別の課題を地域課題としてとらえていく姿勢が大切。
- 基礎研修の後半部分と実践研修の前半部分、実践研修の後半部分と更新研修の前半部分のつながりを意識した研修の実施が必要と感じた。
- 基礎研修からの連続性を踏まえ研修を構築していく必要性を感じた。

# 都道府県における実践研修は…

## ～これまでの本受講生の声から～

---

- 受講生が「受講して為になった」「今後につながる」と思ってもらうには、どのようにすればよいのか、本研修に参加して改めて悩んでいる。
- 受講生のレベルについて、一定以上のレベルが前提だと理解したが、現実にはそれぞれ事業所の都合もあり難しいと感じた。
- 各都道府県が、実践研修受講者各々のレベルの違いに戸惑っていることが認識できた。その中で、低い方にレベルを合わせるのではなく、実践研修修了後にはサビ児管となることを前提にプログラムを組む必要があることを学べた。
- プログラム等については、昨年までの資料からブラッシュアップされている部分を作り手側がしっかりと理解し、それから変更していく必要性を強く感じた。
- 相談支援専門員研修も含めて、サビ管、相談員の連携の必要性を再認識できた。



# 今回の実践研修 コースは…

---

- 実際に実践研修を企画し、実施した方を対象としている研修スタッフ向けの内容であるをご承知おきください。
- サビ児管の資格を取得する研修だけに、伝えていきたいことはたくさんあることですが、研修の効果を冷静に考えていきたいものです。
- 実践研修のテーマは「質の向上」であり、対人援助のあり方を振り返り、人材育成と、地域との連携の大切さを伝えていく研修であることを、改めて考えていく機会として企画しました。



# 今回の実践研修 コースは…

---

- 講義演習に関する資料は概ね昨年同様ですが、一部ブラッシュアップしています。  
(後日、国リハHPにアップされます。)
- 昨年と比べると、研修内容の伝達の時間を減らし、実践研修の目的と意義を振り返り、自都道府県における課題をより深く考えていくプログラムにしています。
- 各都道府県での実践研修を企画するための研修ですので、今年度または来年度の研修企画に関与して、学んだことをお伝え下さい。